

# 東京体育学研究

Vol. 14

2023年3月

# 東京体育学研究 Vol. 14 目次

## 〈研究論文〉

平均台における〈シリバス〉の習得過程に関する発生運動学的研究

——形成位相論による動感変容の解明——

仲宗根 森敦（東京学芸大学） …… 5

## 〈研究報告〉

オリンピック・パラリンピック教育に関する教員研修の方法に関する研究

——オンライン型教員研修の効果検証を通して——

岡田 悠佑（明治学院大学心理学部, 早稲田大学スポーツ科学研究センター）他 ……15

ゲーミフィケーションに基づくスポーツSDGs教育の教材開発

——「スポーツSDGsすごろく」の効果検証を通して——

木村 佐枝子（常葉大学健康プロデュース学部心身マネジメント学科）他 ……23

## 〈東京体育学会第13回学会大会発表抄録〉

バドミントンパフォーマンス分析システムの開発およびその活用方法の検討

加藤 譲（東海大学SAC清水教養教育センター） ……35

バドミントン・男子ダブルスにおけるロングサービスの有効性について

成田 行磯（仙台大学体育学部学生）他 ……36

大学野球選手のモニタリングデータからみた試合期におけるコンディショニング課題

光川 真壽（東洋学園大学）他 ……37

インサイドキックの評価基準に関するサッカー経験者と未経験中学教師の比較

永井 健太郎（東海大学健康学部）他 ……38

ハンドボール競技における助走歩数の違いがジャンプシュート動作に及ぼす影響

諏訪 芙友季（国士舘大学大学院）他 ……39

大学生女子バレーボール選手におけるスパイクジャンプの跳躍高に影響するバイオメカニクスの要因

長沼 舜（国士舘大学大学院）他 ……40

棒高跳指導者の指導理念に関する研究

富沢 恭子（東京学芸大学）他 ……41

陸上投擲競技者のシーズン中における体力要素と競技記録との関係

海老原 有希（国士舘大学大学院）他 ……42

|  |    |
|--|----|
| 走高跳における試合展開がパフォーマンスに及ぼす影響について<br>栗原 理沙（日本大学大学院）他   | 43 |
| 連続グライド動作のトレーニング手段としての有効性に関する力学的検討<br>宮内 育大（日本大学）他  | 44 |
| 競泳競技におけるキックスタート時の上肢動作が離台時の移動速度に及ぼす影響<br>兵頭 洋樹（国士舘大学大学院工学研究科）他                                | 45 |
| 女子大学空手選手の逆突きおよび刻み突き動作における反応時間に関する研究<br>——床反力及び動作分析からの検討——<br>王 善賜（国士舘大学大学院）他                 | 46 |
| 地下足袋タイプのシューズ着用が繰り返し動作におよぼす効果<br>天野 勝弘（環太平洋大学スポーツ科学センター）他                                     | 47 |
| ハムストリングに対する筋コンディショニング法の違いによる股関節可動域の変化について<br>——静的ストレッチングと筋膜リリースの比較——<br>松井 咲樹（日本女子体育大学体育学部）他 | 48 |
| 連続的筋力発揮前後における腓腹筋及びアキレス腱の活動動態<br>青柳 泰河（国士舘大学大学院）他   | 49 |
| 保育士の身体的疲労軽減を目指した運動プログラムの考案<br>——表面筋電図測定に基づいて——<br>山下 美代子（日本女子体育大学大学院）他                       | 50 |
| 東日本大震災からみた公園利用率の考察<br>大橋 美紅（仙台大学体育学部学生）他   | 51 |
| 大学での体育・スポーツの一般教養科目での「スポーツ・コーチング」授業を受講生はどのように受け止めたか？<br>野口 智博（日本大学文理学部）他                      | 52 |

## 東京体育学賞

| 大会   | 演者                       | 演題名   |
|------|--------------------------|---|
| 第1回  | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第2回  | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第3回  | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第4回  | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第5回  | 掛水 通子(東京女子体育大学)          | 明治・大正期における女子中等学校体操科に果たした私立東京女子体操音楽学校卒業生の役割：『諸学校職員録』、『中等教育諸学校職員録』(1903-1926)を手懸かりに |
| 第6回  | 柏木 悠(日本体育大学大学院トレーニング科学系) | 伸腕屈伸力倒立の技術評価の試み   |
| 第7回  | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第8回  | 鴻巣 暁(東京大学大学院総合文化研究科)     | 逆上がりの遊脚期における下肢関節の機械的エネルギーへの貢献   |
| 第9回  | 宇津木 安来(東京藝術大学)           | 日本舞踊における「腰の安定」に関する研究<br>—モーションキャプチャを用いて—  |
| 第10回 | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第11回 | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第12回 | 該当者および該当論文無し             |   |
| 第13回 | 該当者および該当論文無し             |   |

## 東京体育学奨励賞

| 大会  | 演者                    | 演題名   |
|-----|-----------------------|---|
| 第1回 | 小笠原 理紀(東京大学大学院)他2名    | 6ヶ月間の高強度筋力トレーニング中のディトレーニングとリトレーニングの効果                   |
|     | 佐久間 淳(早稲田大学大学院)他5名    | 同一動作速度のもとでの異なる動作負荷条件における腓腹筋内側頭およびヒラメ筋の筋腱動態              |
|     | 中川 剣人(早稲田大学大学院)他3名    | 受動動作を含んだ協調動作の解析   |
|     | 山崎 猛(国士舘大学大学院)他4名     | テニスのフォアハンドストローク動作に及ぼす打点位置の影響                            |
| 第2回 | 該当者および該当論文無し          |   |
| 第3回 | 内堀 昭宜(早稲田大学大学院)他6名    | 種々の競技におけるサーブの正確性に関する検討                                  |
|     | 加藤 孝基(早稲田大学大学院)他3名    | 足関節筋のリラックスは手関節筋の皮質脊髄路興奮性を低下させる                          |
|     | 栗原 正明(国士舘大学大学院)他4名    | トライアスリートにおける連続した自転車ペダリング運動時のクランク力及び下肢筋群の活動特性            |
|     | 竹林 和史(国士舘大学大学院)他6名    | 野球捕手におけるスローイング動作の運動学的特性                                 |
| 第4回 | 小林 裕司(日本女子体育大学大学院)他4名 | 前腕部加温が下肢運動時における上腕動脈の逆行性血流成分を減少させる                       |
|     | 仁木 康浩(日本体育大学大学院)他4名   | 泳速の違いによる水中ドルフィンキック動作の変化                                 |
|     | 秦野 純一(早稲田大学大学院)他2名    | 等尺性足関節底屈トルクと腓腹筋筋放電量の関係に及ぼすトルク増加速度の影響～収縮中の筋束動態の実測を通じた検討～ |
|     | 坂東 龍一郎(国士舘大学大学院)他4名   | 腰部及び大腿部における野球選手の形態特性                                    |
|     | 八重嶋 克俊(東京大学大学院)他3名    | Lucas-Kanade法を利用した筋形状リアルタイム計測                           |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 第5回  | 小谷 究(日本体育大学大学院)<br>小谷 結香子(国士舘大学大学院)他5名<br>平野 智也(日本体育大学大学院)他4名                                    | 日本のバスケットボール競技におけるオフENS参加人数に関する史的<br>研究<br>女子新体操競技における A Terre と Releve 動作時のバランス能力<br>トレッドミル歩行における地面反力3成分の変動                                  |
| 第6回  | 羅 劉星(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)<br>他1名<br>今若 太郎(国士舘大学大学院)他6名<br>竹澤 恵菜(国士舘大学大学院)他3名                       | 武術太極拳の「弓歩冲拳」における上級者と下級者の比較<br>大学野球選手における走塁能力に関する研究<br>女子新体操選手における身体発育と動的バランス能力の発達  |
| 第7回  | 佐渡夏紀(東京大学大学院総合文化研究科)<br>他2名<br>池上 聖史(国士舘大学大学院)他4名<br>嶋田 卓(日本女子体育大学大学院)他2名<br>相馬 満利(日本体育大学大学院)他5名 | 全力疾走における体幹側屈と股関節外転の力発揮による骨盤<br>安定性への貢献の定量的比較とその相補関係性<br>短距離選手と長距離選手における下肢筋群の筋形状変化から<br>みた収縮特性<br>下腿周径囲と腓腹筋硬度の日内変動<br>中学女子ソフトボール選手の身体的及び体力的特徴 |
| 第8回  | 川瀬 雅(日本女子体育大学大学院)他1名<br>北沢 綾子(東京大学大学院総合文化研究科)<br>他2名<br>田村 飛鳥(国士舘大学大学院)他2名                       | 芸術的スポーツとしての新体操<br>エネルギー効率の高い跳躍動作のメカニズムの研究<br>温熱刺激が骨格筋の収縮特性に及ぼす効果   |
| 第9回  | 山内 悠介(東京大学大学院)他3名<br>篠原 諒介(国士舘大学大学院)他2名<br>堤 幸治(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)<br>他2名                        | 幼児期における投球能力向上に効果的な練習方法の検討<br>筋の収縮及び出力特性に及ぼす高周波温熱刺激と筋活動<br>筋の弛緩が同肢内他筋の持続収縮力に及ぼす影響   |
| 第10回 | 伊藤 優史(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科)<br>他2名<br>柴田 景子(日本女子体育大学大学院)<br>他2名<br>野澤 巧(日本体育大学大学院)他6名               | 肩関節外転筋の弛緩が手関節筋の皮質脊髓路興奮性に及ぼす<br>影響<br>荷重超音波装置を用いた上腕及び大腿における筋硬度評価値<br>の年齢差と性差の検討<br>小学校児童における過体重が立位および歩行時の足部形状に<br>及ぼす影響                       |
| 第11回 | 該当者および該当論文無し   |  |
| 第12回 | 木内 聖(日本体育大学大学院)他9名<br>原田 将寛(東京大学大学院)他1名<br>村井 俊介(国士舘大学大学院)他4名                                    | 小学校児童の発育に伴う歩容および足部内側縦アーチ構造の<br>変化<br>アルペンスキーにおける中上級者のターン制御方略の差異<br>フォームローリングは筋硬度,筋出力および筋活動を助長するか   |

|      |  |   |
|------|--|---|
| 第13回 | 海老原 有希(国士舘大学大学院)他4名<br>王 善賜(国士舘大学大学院)他8名<br>山下 美代子(日本女子体育大学大学院)<br>他2名 | 陸上投擲競技者のシーズン中における体力要素と競技記録との関係<br>女子大学空手選手の逆突きおよび刻み突きにおける反応時間に関する研究 ——床反力及び動作分析からの検討——<br>保育士の身体的疲労軽減を目指した運動プログラムの考案 ——表面筋電図測定に基づいて—— |
|------|--|---|

※第2回大会は、東日本大震災のため、東京体育学賞・東京体育学奨励賞の選考を中止した。

※第11回大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、誌上発表形式としたことにより、東京体育学賞・東京体育学奨励賞の選考は実施しなかった。

## 編集後記

東京体育学研究第14巻をお届けいたします。昨年度の第13回学会大会では一般研究発表は対面形式に戻った形で無事に行われました。その一般発表演題18題の抄録が今回掲載されております。ウィズコロナが進み、様々な研究活動も徐々に活発になる中、今年度は研究論文1編と研究報告2編を掲載するはこびとなりました。ご投稿頂きました会員の皆様、査読をお引き受け下さいました先生方、編集委員の皆様、そして学会事務局のスタッフの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

会員の皆様の研究成果がよりよい形として発表される場を本誌が提供できるよう、編集委員会は迅速かつ公正な査読プロセスを運営する努力を今後も続けて参りたいと考えております。会員の皆様におかれましては、これからも積極的に本誌にご投稿下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

東京体育学研究編集委員会 委員長 村岡 哲郎(日本大学)

## 編集委員

村岡 哲郎(日本大学) 委員長  
佐々木玲子(慶應義塾大学)  
柏木 悠(専修大学)  
近藤 智靖(日本体育大学)  
平野 智也(国士舘大学) 幹事

令和5年3月30日 発行〔非売品〕

### 東京体育学研究 Vol. 14

発行 東京体育学会  
会長 船 渡 和 男  
〒206-8515 東京都多摩市永山7-3-1  
国士舘大学大学院  
スポーツ・システム研究科助手室内  
e-mail: tokyotai@kokushikan.ac.jp

印刷 株式会社リョーワ印刷  
〒164-0014 東京都中野区南台3-44-7-101 TEL 03-6382-4667